

府県支庁名 滋賀県

気 象 災 害 報 告

1953年(昭和28年)
担当官署名: 彦根地方気象台

通年番号	期日・期間	災害発生日	気象現象名	気象災害名	発生地域名	総観気象の状況
03 (災害報告)	1953年 9月24日～9月25日	1953年9月25日	大雨 強風	強風害 洪水害 浸水害 山がけ崩れ害 強雨害		台風

気 象 観 測 値				被 害 状 況							
観測項目	観測値	起時・期間	観測地点	死者・行方不明者		47 人	道路損壊	715 か所			
最大風向・風速	北 21.0m/s	9月25日	彦根	負傷者		497 人	橋の流失	か所			
最大瞬間風向・風速	北 29.0m/s	9月25日	彦根	被災者		人	鉄軌道被害	か所			
期間降水量・平年比	172.1mm (1,458%)	9月24日～9月25日	彦根	住家	全壊・全焼・流失	522 棟	山崖崩れ・地滑り	か所			
最大日降水量	127.8mm	9月25日	彦根		半壊・半焼・一部破損	1198 棟	堤防決壊	か所			
最大1時間降水量	27.0mm	9月25日	彦根		床上浸水	9390 棟	通信施設被害	回線			
最大10分間降水量	6.0mm	9月25日	彦根		床下浸水	29284 棟	木材流失	m ³			
				耕地	流失・埋没	ha	山林焼失	ha			
					冠水	ha	船舶被害	隻			
				農業被害		ha		か所			
				水産業被害		隻		381624 万円	か所		
						10200 万円					
				林業被害		m ³		ha			
						か所		171337 万円			
				交通	陸上						
					海上						
					航空						
				電力・水道被害							
被害資料の入手先		滋賀県災害誌									
報告刊行物											
備 考 ・ そ の 他				気 象 及 び 災 害 の 概 況							
琵琶湖の水位が災害発生後も上昇し、湖周辺低地及び干拓地で農作物の被害が出た。 25日に県は災害対策本部を設置した。26日には、県災害救助本部を設置し、91市町村に災害救助法を適用した。 被害総額は、約162億円				台風第13号 気象状況 25日に台風第13号が紀伊半島沿いに熊野灘を北北東進し、17時過ぎ志摩半島に上陸した。18時の中心気圧は946hPaであった。その後、本州上を北北東に進み、三陸沖に出た。 滋賀県では、25日午後から夜にかけ暴風雨圏内に入り、彦根で最大瞬間風速、北29m/sを観測した。雨量は平地100～200mm、山間部300～450mmとなった。 被害状況 安曇川の決壊に伴い10戸が濁流に流され死者13人を出した。また、橋梁は殆ど流失し、道路は寸断された。 日野川の決壊により避難の遅れた6人が死亡した。							